

和歌山スキー協通信

2021. 8. 15 (21-22 NO. 1)

東京オリンピックが閉幕しました。みなさんはどんなふうご覧になったでしょうか。新型コロナも大変な状況になっています。感染防止対策をぬかりなく行ないながら、健康に気をつけてこの夏を乗り切りましょう。

新理事長に池口氏

さて、和歌山県勤労者スキー協議会第43回定期総会は昨年に続き書面にて意見をいただく形での開催となりました。会員35名のうち29名より返信があり、そのすべてが議案に「賛成」であることを8月1日の理事会で確認しました。

承認された新役員体制では、1998年から23年間にわたって理事長を務めていただいた小林正知さん（きのくに）に代わって池口覚さん（シュカブラ）が新理事長に就任しました。気持ちもあらたに21-22シーズンのスタートです。



〔左端が池口さん。顔わからんけど。〕

新任の挨拶

皆さんこんにちは、このたび新しく理事長をつとめることになりました池口です。私はスキーを始めて40年余りになります。スキー歴だけは長いのですが何年かはスキーをしない時期があったりして、あまり上手ではありません。でも最近、スキー協議会の初級指導員の資格を取りました。まだまだ上達したいと思っています。皆さん一緒にスキーに行きましょう。

昨今スキー人口の減少、雪不足、クラブ員の高齢化とコロナ禍と、私たちを取り囲む環境は厳しいものがあります。昨シーズンは和歌山県スキー協議会のスキーツアーやクラブのツアーのほとんどが中止となりました。そんな中で私たち和歌山県スキー協議会は、どのようにしたらスキーの楽しさを皆さんに伝えられるのか考えています。他府県のスキーヤーとも一緒にスキーを盛り上げていきたいと思っています。私も微力ながらスキーの楽しさをみんなに伝えられるよう、会員の皆さんの力を借りて頑張りたいと思っています。よろしくお願いたします。

池口 覚

総会にあたって、大阪・京都・滋賀の各スキー協よりメッセージをいただきました。

和歌山県勤労者スキー協議会第43回定期総会のご盛会おめでとうございます。

今シーズンは、新型コロナウイルス感染者が広がり様々な企画が中止になり、大変な思いをされたことと思います。京都もバスツアーの2大企画が中止になり大きな誤算でした。ツアーを組めなかったクラブもありました。

スポーツを楽しむことは健康で文化的な生活のひとつではないかと思えます。国として日常から危機管理をしっかりといただき、国民にとってもう少し安心して暮らしやすい、国民のための政治をして欲しいものです。

和歌山スキー協は、スキー場からの地の利が悪いことも乗り越え、新しい指導員が誕生されるなど、関西ブロックを牽引していただいておりますことに敬意を表します。

関西ブロック全体で英知を発揮し、スキー界の発展のためにも経験を交流するなどして、会員を少しずつでも増やせる取り組みを工夫して行きましょう。和歌山スキー協がその先頭になられることを願い、この総会がそのきっかけとなることを期待申し上げます。お互い頑張りましょう。

京都スキー協議会運営委員長
関西ブロック事務局長 小山孝夫



和歌山スキー協の皆さん、定期総会おめでとうございます。

日々の活動に敬意を表します。

コロナ禍で、いろんなことに制約された2021シーズンを終えました。和歌山の皆さんも、日々の生活も大変だったことと思います。

「明けない夜はない」ように、新型コロナウイルスのワクチン接種が進めば、感染拡大も終息に向かうと思います。また、すべてが元に戻るわけではないですが、常に準備をし、出来る時に出来ることをする気持ちを持っていきましょう。

シーズン前の9月に主管をされます「関西ブロック学習交流会」の運営ご苦労様です。

今総会において、皆さんの活発な議論の基に、2022、スノーシーズンを楽しんでいこうではありませんか。

滋賀県勤労者スキー協議会
会長 村地 兼次



2021年度定期総会開催おめでとうございます。

昨年から続くコロナ禍のなか、スキー協活動ご苦労様です。緊急事態宣言及び蔓延防止対策の発令により思うような活動がでなかった事は関西ブロック共通の悩みと思います。

複数の計画行事中止により活動も制約されました。大阪では「Osaka スノー祭典」が中止となり参加を心待ちにしていた方々には残念な結果となりましたが、大阪だけではなく、宣言・解除の中においてコロナに対する決まりを守りながら、メリハリある活動をされたとの報告も各府県から聞かれたことは今後の貴スキー協活動にも繋がると思っています。またワクチン接種も進み、来シーズンは今年より、より多くの活動が期待されるところです。

会員一人一人の繋がりを大切にし、楽しいクラブ活動ができるよう共に頑張りましょう。

大阪府勤労者スキー協議会
会長 赤木 徹郎

主な行事予定

今すぐ予定帳に書きこもう！

詳細については事務局までお問い合わせください。（どなたでも参加できる行事です。）

- 9/4（土）午後1時～ 関西ブロック学習交流会 和歌山市北コミュニティセンター
- 12/17（金）～19（日）関西ブロック初滑り・研修 志賀高原
- 2/9（水）～10（木）県スキー協クラブ合同ツアー 木曽福島
- 2/26（土）～27（日）全国競技大会 湯ノ丸高原
- 3/12（土）～13（日）関西・東海ブロック競技大会 野麦峠
- 3/19（土）～21（月・祝）県スキー協ツアー 志賀高原
- 4/1（金）～3（日）関西ブロックレベルアップスキー



訂正

総会議案の「活動日誌」と「行事予定」にいくつか誤りや漏れがありました。お詫びして別紙の通り訂正させていただきます。

退任にあたって

きのくにSC 小林 正知

今回の総会で20数年の長きにわたった理事長を退任しました。

55歳で中級指導員になって、一人独立して「きのくにSC」を立ち上げ、中高年層を中心に、一時は県スキー協で最大の人数まで行きましたが、中高年齢者が多いため病気や体力面・金銭面等諸事情で次々と退会があり、気がつけば、私が県でも一番年上となりました。

どの分野もそうですが、日進月歩についていくには、組織の若返りを図っていかなければなりません。長い間こういう考えを持っていましたが、なかなかチャンスに恵まれずここまで来ましたが、私から提起して今回10数才若い池口さんに引き継ぐことができました。

スキーは自然相手でいだかれた関係で謙虚になれ、チャレンジ精神やスポーツの持つ対等平等で相手を尊敬する素晴らしい精神を学ばせていただき、「貧しくとも心豊かに」を実践できたことは嬉しい限りです。

「雪なし県」でハンディはありますが、残り少ない人生で皆さんのお役に立てれば幸いです。ながい間の皆さんのご協力に感謝して退任の挨拶といたします。



学習交流会 締め切り迫る！

5年ぶりに和歌山で開催される「関西ブロック学習交流会」。指導員の理論研修を兼ねた学習会ですが、一般スキーヤーのみなさんにもためになる講座です。

第1講義「安全かつ快適にスキーを楽しむための用具選び」 大久保省吾氏（タナベスポーツ）

第2講義「スキー協指導員って何するの？」 赤木徹郎氏（大阪スキー協）・池田和文氏（滋賀スキー協）

第3講義「切り替え技術を学ぼう」 野瀬孝氏（滋賀スキー協・全国スキー協デモンストレーター）

9月4日（土）の午後、さんさんセンター紀の川（和歌山市北コミュニティセンター）にて。

参加費は2000円（指導員は4000円）。

（※会場ではマスクの着用と手洗い・消毒をお願いします。）

【申し込み・問い合わせ】 池口覚 skk-ikeguti@zeus.eonet.ne.jp 090-3841-9581

発行責任 中岡 大（和歌山県勤労者スキー協議会 事務局）

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 携帯 090-7873-3603

E-mail dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp

和歌山スキー協ホームページ <http://spowaka.sakura.ne.jp/ski/>